

次期生物多様性国家戦略策定に向けた今後の予定

- 4～5月に開催予定であった生物多様性条約 COP15 第二部は7～9月に延期の見込み。
- これに伴い、次期生物多様性国家戦略策定スケジュールも後ろ倒しになる見込み。
- COP15 第二部の開催時期が正式に決定された後に、スケジュール確定。

想定される暫定スケジュール（3月18日現在）

2022年	次期生物多様性国家戦略の検討	国際的な動き
1月	第3回小委員会（1月19日）	ジュネーブ会合（1月） ⇒3月に延期
3月	第4回小委員会（3月22日）	ジュネーブ会合（3月14日～29日） <ul style="list-style-type: none"> ・第24回科学技術助言補助機関会合（SBSTTA24） 第二部 ・第3回条約実施補助機関会合（SBI3）第二部 ・ポスト2020生物多様性枠組に関する第3回公開作業部会（OEWG3）第二部
4月	30by30ロードマップ公表 各種意見交換	生物多様性条約 COP15 第二部（4～5月） ⇒7～9月に延期（見込み）
7月～9月	第5回小委員会	生物多様性条約 COP15 第二部（見込み）※ ・ <u>ポスト2020生物多様性枠組採択予定</u>
秋頃	第6回小委員会 パブリックコメント、地方説明会 自然環境部会・第7回小委員会	
年内目途	<u>閣議決定（見込み）</u>	

※COP15 第二部は暫定ながら2022年第3四半期（7～9月）に開催されるとの見通しが条約事務局より示されている（以下のリンクのジュネーブ会合シナリオノート2ページ目最初のパラ末尾参照）。

<https://www.cbd.int/doc/c/7d5d/b85c/cadcf30dfa4c4ec335d6fe7e/sbstta-24-01-add2-rev2-en.pdf>